

| | | | | | |
|------|-----------|-------|-----------|------|-----|
| 科目名 | 韓国文化論特殊講義 | 科目コード | 8004 | 単位数 | 2 |
| 担当者名 | 水野 俊平 | 開講時期 | 1 前 / 1 後 | 開講年次 | 1年次 |

● 授業の到達目標及びテーマ

朝鮮半島諸国と中国の歴代王朝との関係と、日本と中国の歴代王朝の関係を比較し、その差異を考察する。朝鮮独特の対中国観である「小中華思想」について考察する。

大韓民国建国後、1992年までの中韓関係を、日中関係・日韓関係と比較して考察し、理解する。

1992年から現在までの中韓関係の推移を人的交流・経済交流・文化交流などの側面から考察し、理解する。

中韓関係の発展とともに生じた「文化摩擦」について、実例を通して考察し、理解する。また、「文化摩擦」に影響を与えている「韓国人の中国観」「中国人の韓国観」について先行研究を通して考察し、理解する。

● 授業の概要

「躍動する北東アジア地域の発展に貢献する」という本学の教育方針、および「国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力の涵養」という学位授与方針をふまえ、韓国文化への理解を深め、東アジア諸国の相互理解という観点から、日中関係・日韓関係よりも未開拓の分野である「中韓関係」を取り上げ、考究する。適宜、レポートを課し、インターネット等を利用した調査なども課題として課す。

● 授業計画

1週目 講義の概要を説明し、教材を配布、発表順序を決める。韓国の概要（地理・気候・行政区分・民族・言語などを把握する

2週目 韓国と中国の外交関係成立（1992年～）と現在までの流れを把握する。あわせて日中関係（1972～）・日韓関係（1965年～）の流れを把握し、中韓関係の特殊性を理解する。

3週目 1992年の修好後の中韓関係の発展を時期別に把握する。あわせて、修好とともに断交した台湾との関係を把握する。

4週目 中韓関係の重要な要素となっている北朝鮮の動向、北朝鮮と中国の関係、南北関係（北朝鮮と韓国の関係）について把握する。

5週目 修好後の中韓の経済通商関係について把握する。通商・貿易関係の時期別変化と、分業協力関係から競争的な統合市場への発展という様相を把握する。

6週目 修好後の中韓の経済通商関係について把握する。中韓の通商関係の展望、将来の中韓関係の課題などを把握する。

7週目 修好後の中韓直接投資（中国 韓国、韓国 中国）の推移を具体的な事例・成果を通して把握する。

8週目 中韓の人的交流（訪問者・在留者）の変化と、それに伴う文化交流の変遷と発展を把握する。

9週目 中韓の文化交流に伴う「文化葛藤」の様相と原因を把握する。ここでは映画・ドラマなどに起因する「文化葛藤」を取り上げる。

10週目 中韓の文化交流に伴う「文化葛藤」の様相と原因を把握する。ここでは歴史認識（歴史政策）・伝統文化の起源などに関連する「文化葛藤」を取り上げる。

11週目 先行研究の調査結果を通して、韓国人の中国観について把握する。韓国人の日本観とも比較する。

12週目 先行研究の調査結果を通して、韓国人の中国人観について把握する。韓国人の日本（人）観とも比較する。

13週目 先行研究の調査結果を通して、中国人の韓国観について把握する。中国人の日本（人）観とも比較する。

14週目 先行研究の調査結果を通して、中国人の韓国人観について把握する。中国人の日本（人）観とも比較する。

15週目 修好以後、30年にわたる中韓関係を時期区分し、時期別の特徴と、今後の中韓関係の展望を把握する。

16週目 試験やレポートに対するフィードバック（テスト返却、講評、等）を実施する。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う。

● テキスト

ソウル大学校国際学研究所『韓中修好30年、評価と展望 - 葛藤と協力の韓中関係、相生の道を問う』21世紀ブックス（韓国語）

● 参考書・参考資料等

董向栄・王晓玲・李永春（2012）『韓国人心目中的中国形象』社会科学文献出版社

王晓玲（2009）『中国人心目中的韓国形象』民族出版社

● 成績評価の方法・基準

最終レポートに対する評価、口頭発表に対する評価による。

● 更新日付

2024/01/29 01:30